

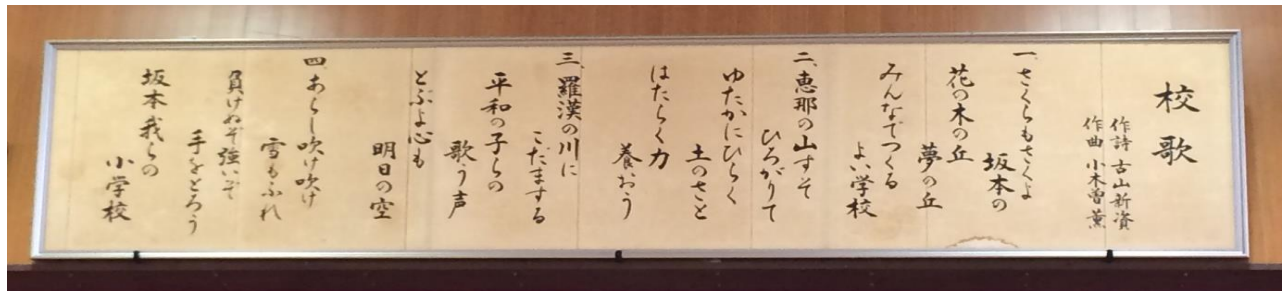
羅漢 (らかん)



平成28年度 3月号

校歌の歌詞は間違っていなかった

坂本小学校 3年校長 林 茂富



体育館ステージ上に大きな校歌の額が掲げられたのが、平成3年3月です。校歌ができたのは随分以前のことですが、どうして平成3年にあのように大きな額として掲げたのか何か理由があるのだらうと思っていましたが、その理由が分かりました。

2月のある日、学校へ1本の電話がかかってきました。その内容は「今歌われている校歌の歌詞は一部間違っていないか。」「自分の子供が歌っていた歌詞と違うので、理由を教えてください。」ということでした。

早速、どこかにその理由が記されているものはないかと調べてみることにしました。まずは、学校にある校歌の楽譜を見ました。すると、楽譜には直した跡がありました。直された部分は2箇所でした。1番の歌詞「みんなでつくろ」が、「みんなでつくる」・4番の歌詞「我ら」が、「我ら」と手書きにしてありました。更に調べていくと体育館竣工式のパンフレットに校歌が記されていてそこにも「みんなでつくろ」・「我ら」となっていました。

続いて学校沿革史を読んでみましたが、校歌一部変更の記述は見当たりませんでした。

以上のことからでは、どちらが正しいか断定することはできません。そこで、校歌額が掲げられた当時、坂本小学校に勤務してみえた先生方に聞くことにしました。当時のA教頭先生(知っている方でしたので)なら知ってみえるかもしれないと思い、電話番号を調べてかけてみましたが、残念ながら覚えてみえませんでした。しかし、当時教務主任のB先生が中心となって校歌額を掲げたことを覚えてみえたのでそのことを教えてくださいました。恵那市在住でご健在であることも分かり、117で確認しましたが、B先生のお名前では電話番号登録はされていませんでした。どうしたらよいかと困っているところへB先生の電話番号を調べて教えてくださった方がおみえになりました。早速電話をかけるとまだまだ若々しい声で校歌額を掲げた理由を教えてくださいました。

<校歌額掲示の理由：B先生より>

当時、校歌の歌詞が違うという指摘があり、恵那市在住の作詞者「古山新資」氏を訪ね、歌詞の確認をした。すると2箇所間違いであったことが古山氏の残してある資料から確認することができた。作詞された当時は、歌詞をガリ版を使用して、校歌を印刷していたため、早い内に間違い、そのまま歌われていたのであろう。今後校歌を間違えないようにPTA役員と相談をして、正しい校歌の歌詞を大きな額にして体育館に掲示した。ということだ。

上記の理由で、現在子供たちと歌っている歌詞が正しいことが分かりました。これからも坂本小学校で学ぶ子供たちと目指す学校像として歌っていきます。

【2月のできごと】

～新1年生一日入学～



～PTA花の木委員会主催 読み聞かせ～



～授業参観～



3月の予定



	できごと	下校時刻
1	水 記名の日	16:00
2	木 6年生を送る会 感謝の集い	16:00
3	金 一斉下校	15:00
4	土	
5	日	
6	月 全校地域 集団下校	14:45
7	火 クラブ	16:30
8	水	16:30
9	木	16:30
10	金 3年生みそづくり	16:30
11	土	
12	日	
13	月 集団下校	15:15
14	火 卒業式練習 児童委員会	16:30
15	水 6年生中学校見学(午後)	16:30
16	木	16:30
17	金 卒業式練習 大掃除 ワックスがけ	15:00
18	土	
19	日	
20	月 ⑧春分の日	
21	火 卒業式練習 クラブ	16:30
22	水 1～4年生一斉下校(14:00)・5年卒業式準備	14:00
23	木 卒業式 1～3年生休業日	11:30
24	金 修了式・離任式 上靴・赤白帽を持ち帰る日	11:30
25	土	
26	日	
27	月 学年末休業日	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

※低学年は、1時間程度早く下校することもあります。

【来年度の主な行事予定】

- ◆4月6日(木): 始業式
- ◆4月7日(金): 入学式【午後】
- ◆4月22日(土): 授業参観、PTA 総会、学級懇談会
- ◆4月24日(月)授業参観日(22日)の振替休業日
- ◆4月26、27、28日、5月2、8日家庭訪問
- ◆6月3日(土)運動会

看板が設置されました

運転者への注意喚起をする横8mの看板が設置されました。この看板は、ご存じのように過



去3年間に2件の大きな事故に伴い、みんなで対策を考えた一つとして実現したものです。言葉は児童と職員に募集し、その中から選ばれた言葉です。市役所防災安全課中心となり、地主である安江

さんのご理解により設置できました。子供の安全を祈る沢山の人の気持ちの表れです。子供たちはもちろんですが、車を運転される皆さんが常に交通安全に留意してくださることを願って止みません。

